

抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)を服用中の方へ

注意:一部の薬については主治医に裏面を記入してもらう必要がありますので必ずお読みください

脳梗塞、心筋梗塞、下肢静脈血栓症、肺血栓塞栓症などの治療や予防のために血液をサラサラにする薬(例:抗血小板薬(バイアスピリン、プラビックスなど)や抗凝固薬(ワーファリン、プラザキサなど)が使われていることがあります。

これらの薬を使用したまま内視鏡検査や生体組織検査(生検)、大腸ポリープ切除などを行う場合、一旦出血すると血が止まりにくくなり危険なことがあります。一方で、これらの薬を中止すると当然ながら血栓の予防効果が失われ、脳梗塞、心筋梗塞、下肢静脈血栓症、肺血栓塞栓症などの重篤な血栓塞栓症が起こる危険性が高くなります。

そのため、これらの薬を服用中の方には、「薬を継続することによる出血の危険性」と「薬を中止することによる血栓塞栓症の発症の危険性」の両方を考慮して、「薬を中止する、または、継続する」の主治医判断が必要になります。この判断は検査や治療の目的に応じて内視鏡検査や血栓塞栓症に関連する学会が発表したガイドラインなどを参考に医師が慎重に行っていますが、当院では下記を基準にしております。

万が一、出血や血栓塞栓症などの偶発症が発生した場合は高次医療機関への依頼も含め最善の対処をいたします。

より安全な検査を行うためにご理解とご協力をお願い申し上げます。

●上下部消化管内視鏡検査 生体組織検査(生検): 休薬の必要なし
(ワルファリンカリウム(ワーファリン等)を服用中の方は生検不可)

●大腸ポリープ切除術: **要休薬または実施不可の薬があります**
※別紙の休止薬一覧表をご覧ください。
※主治医へ事前確認が必要です
※危険ですので自己判断での休薬は絶対に避けてください。



該当する方は裏面へ

該当する薬を服用されている場合、主治医への確認が必要です。
事前に裏面の「主治医確認書」を記入してもらい、指示に従ってください。
受診日当日にこの用紙を持ってご来院ください。

【メモ欄】

【主治医確認書】

～消化管内視鏡検査における抗血栓薬の休薬について～

平素より大変お世話になっております。

この度、当院にて患者様の消化管内視鏡検査を行う事となりましたが、貴院より抗血栓薬の処方を受けていると伺いました。当院では「抗血栓薬服用者に対する消化管内視鏡診療ガイドライン (Gastroenterological Endoscopy 2012:54:2073-2102)」に基づき、抗血栓薬の休薬について下記のように定めております。

お手数ではございますが、内容をご確認の上、「～主治医記入欄～」に休薬可否や休薬期間をご記載いただきたく存じます。患者様のリスクを最低限にする為にもご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

～当院基準～

●上下部消化管内視鏡検査(観察、生検のみ): 休薬不要

●**大腸ポリープ切除術: 主治医(または処方医)が休薬許可した場合のみ実施可**

※検査当日は休薬期間に含めない

※内服再開時期は当院の検査担当医師が指示する

【1剤のみ】: 別紙参照。

【2剤以上(抗血小板薬2種類以上)】: 別紙参照、下記具体例。

パターン1: アスピリン+チエノピリジン系...チエノピリジン系のみ7日間休薬

パターン2: アスピリン+チエノピリジン系以外の抗血小板薬...

チエノピリジン系以外の抗血小板薬のみ1日間休薬

パターン3: チエノピリジン系+チエノピリジン系以外の抗血小板薬...

チエノピリジン系をアスピリンまたはシロスタゾールに置換し、

チエノピリジン系以外の抗血小板薬のみ1日間休薬

【抗凝固薬について】

ワルファリンカリウム(ワーファリン等)を服用中の場合は休薬可否に関わらず、生検は実施不可。その他の抗凝固薬は休薬なしで、生検実施可。

～主治医記入欄～

【患者名】 _____

【休薬可否】 可 ・ 不可 (○をつけてください)

【休薬する抗血栓薬名および休薬開始日】

1. _____ を _____ 日間休薬

2. _____ を _____ 日間休薬

3. _____ を _____ 日間休薬

【記載日】 20____年____月____日

【医療機関名】 _____

【医師名】 _____

ご不明な点がございましたら下記へご連絡下さい。

医療法人社団ミッドタウンクリニック

TEL 03-5413-0080(代表)

医療法人社団 ミッドタウンクリニック

EGD・CS用 2020年06月作成